

提案番号

No.17

安心安全な自然との共生、人と人とのつながりを促進するまちづくりのご提案
～最先端気象予測技術とLINEチャットボットを活用～

株式会社ウェザーニューズ



提案の背景

地球温暖化、気候変動の影響を受け自然災害は激甚化の一途をたどっており、日々の生活のちょっとした活動にも大きな影響を与えるようになってきた。特につくば市のように自然が身近にあり自然と共生し、自然と隣り合わせで安心安全を築く必要性のある市町は日本に多く存在しており、創業以来37年常に自然と戦い続けてきたウェザーニューズだからこそ、その課題を解決できると考えている。

ウェザーニューズは従来自治体向けに防災用サービスの提供を中心としたビジネスを行ってきたが、このような背景をマーケットニーズと捉え、防災用のサービスをベースに“City as a Service (CaaS)”なるSaaS型の日常時と非常時という2つのフェーズをフリーにする「フェーズフリー」のサービスを企画推進することとした。

トライアル概要

- ①市行政の各部門(観光推進, 某業振興, 環境政策, 道路管理, 河川, 学校教育, 生涯学習, スポーツ振興, 上下水道, 消防本部等)において気象リスク(雨, 雪, 風, 雷, 台風, ゲリラ豪雨), 交通支障, 停電リスク, 熱中症危険度指数情報などが、どの様な業務のどの様なシーンにおいてどの様に活用可能かをヒアリングし検証したい。
- ②住民参加型(できれば消防団, 自主防災組織等の方々)のトライアルにおいて
 - (1)防犯, 交通安全, 施設道路保全情報等を数ヶ月にわたってLINEチャットボットを使用して市行政及び住民間で情報共有し、その有用性について検証したい。
 - (2)模擬防災訓練(半日程度)において、同様にLINEチャットボットを使用して災害被害情報を収集、共有し、行政側及び市民側双方での有用性について検証したい。特に(1)における参加者(常時利用者)の方が、災害時被害情報収集においても効果的であることを検証したい。

期待される効果・実現する未来社会

- ① 世界最先端高精度の気象技術を活用した気象リスク情報を市行政の多くの部門に幅広くご活用頂き、豊かな自然との共生のまちを実現する。
- ② LINEチャットボットを活用し、人と人とのつながりを力に災害時情報収集のみならず日常的な防犯、交通安全、施設保全等の情報共有へと発展させフェーズフリーなまちづくりを実現する。